

いのちと健康、
尊厳を守る



130年のあゆみ

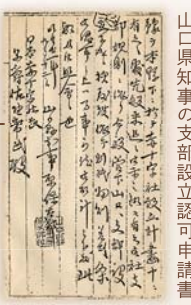

山口県支部は明治21(1888)年10月に設立して以来、県民の皆さまに支えられ、戦時・災害時の救護活動から、戦後の安否調査、無医地区への診療班の派遣、また災害時や突然の事故・病気の際に役立つ救急法等各種講習の普及など、「いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」活動に取り組んでまいりました。

支部の主な救護活動

1888年 【明治21年】
日赤山口県支部設立(県庁内)

1920年 【大正9年】
山口赤十字病院開設
救護看護婦養成所も同時開設

県内の無医地区、僻地、離島地域に診療班を派遣する巡回診療を始める

1923年 【大正12年】
県下各小学校に支部少年赤十字団(JRCの前身)を組織しはじめる

1926年 【大正15年】
一般衛生教育活動の一環として「衛生講習会」をはじめる

1932年 【昭和7年】
小野田赤十字病院開設

1947年 【昭和22年】
傷の手当、急病の処置などの「救急法」講習をはじめる

1949年 【昭和24年】
溺者に対する救助や応急処置などの「水上安全法」講習をはじめる

1955年 【昭和30年】
県内第1回目となるトレセン(子どもたちがリーダーシップについて学ぶための宿泊合宿)を実施








1962年 【昭和37年】
外国人や外国に残留を余儀なくされた人々の安否調査が増え始める

1965年 【昭和40年】
山口県赤十字血液センター設置

1978年 【昭和53年】
支部事務所を山口市水の上から現在の野田へ移転

1985年 【昭和60年】
中国四国各県支部合同災害救護訓練がはじまる

1995年 【平成7年】
阪神・淡路大震災救護

2004年 【平成16年】
新潟県中越地震災害救護

2011年 【平成23年】
東日本大震災救護

2014年 【平成26年】
広島土砂災害救護

2016年 【平成28年】
熊本地震災害救護

2018年 【平成30年】



その他の救護活動

県下で開催されるスポーツ大会や公的な行事の際に看護師等を派遣し、参加者の急な病気のけがに備えています。

- ・昭和38年・平成23年国体
- ・昭和61年全国高校総体山口大会
- ・護国神社慰霊大祭
- ・特別支援学校体育祭
- ・レノファ山口FCホームゲーム
- ・あいりんピック・きりりんピック
- ・ねんりんピック
- ・ツールドしものせき
- ・中国山口駅伝 など

救護回数(派遣人数)

平成26年度 28回(43名)
平成27年度 28回(69名)
平成28年度 34回(54名)



1895年 【明治28年】
日清戦争時に、船内救護員として8名、東京予備病院・広島陸軍予備病院へ21名を派遣。

1914年 【大正3年】
支部初の救護活動。熱中症患者救護のため秋吉台演習場に医師など5名を派遣。




1923年 【大正12年】
関東大震災救護

1945年 【昭和20年】
終戦。昭和12年から救護員(30班・延べ1,075名)を派遣。

1946年 【昭和21年】
南海地震救護

1945年 【昭和20年】
山口駅を出発する救護員

1945年 【昭和20年】
皇居前広場の救護所大テント(五姓田芳柳筆)






1979年 【昭和54年】
下松港入港のオランダ船に乗船していたベトナム難民の入国を援護

1985年 【昭和60年】
中国四国各県支部合同災害救護訓練がはじまる

1995年 【平成7年】
阪神・淡路大震災救護

2004年 【平成16年】
新潟県中越地震災害救護

2011年 【平成23年】
東日本大震災救護

2014年 【平成26年】
広島土砂災害救護

2016年 【平成28年】
熊本地震災害救護









2014年 【平成26年】
広島土砂災害救護

2016年 【平成28年】
熊本地震災害救護

2018年 【平成30年】

写真 左から
・阪神淡路大震災:救護員(8班・延べ62名)、病院支援(2名)、ボランティア(1名)を派遣。救援物資(毛布300枚、日用品セット300、飲料水900L)を搬送。
・新潟県中越地震災害:救護員(1班・延べ6名)、こころのケア要員(1名)を派遣。
・東日本大震災:救護員(11班・延べ82名)、こころのケア要員(6次・延べ16名)、病院支援(6次・延べ10名)、介護支援(2名)、ボランティア(延べ31名)を派遣。救援物資(毛布300枚・緊急セット900、安眠セット80)を搬送。
・平成28年熊本地震災害:救護員(6班・延べ48名)、こころのケア要員(1名)、ボランティア(延べ7名)を派遣。支部支援ボランティア(延べ47名)。救援物資(毛布100枚)を搬送。

県内で発生した主な災害

1942年 【昭和17年】
周防灘台風


救護員(20班・延べ99名)を派遣。



水害地 宇部小野田方面に向け出発準備の第1救護班(昭和17年8月27日、赤十字病院前にて)

1950年 【昭和25年】
キジア台風


救護員(4班・延べ15名)を派遣。



流出寸前の錦帯橋の様子
山口県立山口図書館所蔵
書名:錦帯橋 平成の架替 著者名:金田 惺
出版社:ヨハネハウス・ヨハネ建設

2009年 【平成21年】
防府市土砂災害

救援物資(毛布6,820枚、緊急セット128、安眠セット1,290、バスタオル100枚)を搬送。巡回健康相談に、34名の救護員を派遣。赤十字ボランティアによる土砂撤去等の活動。



2013年 【平成25年】
山口・萩・阿武大雨災害

救護員(2班・延べ18名)を派遣。救援物資(毛布160枚、緊急セット63、安眠セット231、バスタオル555枚)を搬送。赤十字ボランティアによるがれき撤去、住宅清掃、炊き出し等の活動。

